



ライフアートコミュニティ佐保の里
通所介護・訪問介護・居宅介護支援・訪問看護



ディサービスセンター佐保の里

〒630-8105 奈良市佐保台2丁目902-241

電話：0742-70-5020

青山ディサービスセンター

〒630-8101 奈良市青山4丁目3番

電話：0742-23-1020

菅原ディサービスセンター

〒631-0842 奈良市菅原町298-1

電話：0742-53-2020

新大宮ディサービスセンター

〒630-8115 奈良市大宮町3丁目4-18

電話：0742-30-3560

ホームページ <http://www.lifeartcommunity.com>

佐保の里たより



ご利用者様への命の尊厳

在宅生活を支えるための「絆」として



平成17年3月奈良市佐保台に「佐保の里」を開設させて頂き13年目を迎えることができました。開設時よりご利用者様・ご家族様をはじめ、地域の方々、自治連合会長様、その他関係各位の皆様の日頃からの温かいご支援、ご協力を賜り深く感謝すると共に厚く御礼申し上げます。この13年間でデイサービスセンター4ヶ所、訪問介護、居宅介護支援事業所、訪問看護配食サービスの開設等、地域に根付きご愛顧頂けるのも地域の皆様や、地域包括支援センター、居宅支援事業所様、関係各位のご理解の賜物と常々深く感謝いたしております。

さて、日本は世界でも類を見ないぐらい想定を超える勢いで高齢化が進展し65歳以上の割合は国民の3人に一人となり、2040年にはピークを迎え、その後も75歳以上の割合は増加し続けることが予測されます。

超高齢化社会の中、福祉に携わる一人として佐保の里の「理念」をいつも基本と考えています。その中で念頭には「命の尊厳」を思い浮かべます。普通の生活にある、平凡ではあるけれど、安らかな平和を皆で共に分かち合いたい願い、人が人を思いやる心、それを大切にしようとする意思が人への尊厳だと思います。人と人との架け橋は、行き来があつてこそ価値があります。価値があるから大切にされ、崩れないようにと皆が支えると思います。人と人が相互に相手の苦しみを想い、悲しみを憂う相互理解と相互扶助があつて初めて「人間の尊厳」となるのではないのでしょうか。相手を知り、理解し信頼していくことが真の「命の尊厳」を具現化すると信じております。「人間の尊厳」は与えられるものでも要求するものでもなく築きあげるものです。「厳かにして尊い」ものを自己の中に築きあげて行き、常に信念としてもち続けることが本当の意味で二つとない「命」に向き合い支援できる資格があたえられると信じます。



- 一、我々は地域社会に密着し、介護を望む又必要とする生活者に対し、生きる喜びと健康を守る為に限りない努力を重ねる
- 一、我々は人類、社会に対し、人として又企業として公的な使命が何かを大切に考え、私利私欲を廃し、誇りをもって具体的に貢献し続ける
- 一、我々是我々の生活を支えるべく企業発展を前向きかつ真剣に考え、果てしなく行動し続ける

理念

体の健康

心の健康



佐保の里
理念

体の癒し

心の癒し

レクリエーション

今年は、10月に入ってから全国的に日照時間が少ない状態が続く中、各施設でコスモスなどのドライブや、施設内での様々なレクリエーションを行い楽しんでいただきました。

佐保の里



コスモスドライブはあいにくの雨で、車中からの景色を楽しんでいただきました。

ご利用者様は、玉入れやパン食い競争で盛り上がり、職員は、ムカデ競争で燃え上がりました。



借り物競争では、面白い恰好をして、みんなで大笑い♪

青山の自治会長様による、初めての折り紙教室。教えていただきながら、皆さん一生懸命折って、鹿が出来上がりました。



青山



菅原



紅白のチームに分かれ、絶対に負けないぞと一致団結しました。終わった後は、あちらこちらで「今日は楽しかった」と声が聞こえました。

当初予定していた霊山寺のバラ園が台風で延期になり、生駒のふろーらむにドライブに行きました。



新大宮



ご利用者様と職員の混合チームを結成。最後の最後に大逆転劇があり、失敗したのはまさかの職員でした。ご利用者様に励まされ、和やかな運動会になりました。

外食レクリエーションで、お向かいの「ぶらぼの」へ行きました。お食事と生演奏があり、とても楽しんでいただきました。生演奏では、ご利用者様も前に出て歌っていただきました。



自慢のご利用者様

デイサービスセンター佐保の里

加茂町在住

しょうだ

ひろむ

勝 田 宏 様 91歳

大正15年9月10日生まれ

毎日をととても大切に、一生懸命過ごしておられ、
心からの笑顔で周りを明るく元気にしてくださいます。

密着再インタビュー



勝田様は、平成20年9月号でも一度インタビューをさせていただいており、
今回佐保の里たより始まって以来、初の2度目のインタビューをさせていただきました。
耳が遠くなりましたとおっしゃっていましたが、心からにじみ出る笑顔やリハビリを
懸命に取り組まれる姿勢は、9年経過した今でもお変わりありませんでした。



おいたち

4人兄妹の次男として、百姓のご家庭でお生れになり、16歳で学校を卒業され、その後は国鉄に就職をされました。
昭和18年に機関助手見習いで乗務経験を積まれ、神戸の高取の教習所に3ヶ月通い、その後19年に機関助手課に
入所されました。それからしばらくして、昭和天皇が畛傍方面を参拝されるということで、お召し列車の助手を任され



お見送りまでの貴重な経験をされました。その後、機関士になるために、吹田の教習所に
3ヶ月通われ、見事機関士の免許を取得されました。関西では奈良方面・港町・桜井・王寺・京都
方面の列車を運転されていました。

戦時中だったため、19歳の頃に徴兵検査を受けられ、同級生40人中4人が「甲種合格」で、即入営の可能性が高い
判定のお一人に入っておられたそうですが、戦争に行かれることはなく、終戦を迎えられたそうです。

生きがい

昭和30年にご結婚された6歳年下の奥様とお二人で生活をされています。
2年前ぐらいから、奥様に対するサポートが必要になり、お隣にお住まいの
ご長男ご夫婦の助けを借りながら切磋琢磨されています。



奥様を支えるためにも、ご自身が健康でいなければという強い思いで、
佐保の里でのリハビリを前向きに継続され、食事を残すことも一度もなく、毎回感謝の気持ちを持って召しあがって
おられます。最近入った職員の名前も積極的に覚えておられ、まわりにいらっしゃる方に常に笑顔で接して下さり、
職員自身も勝田様から元気をいただいています。これからもその素敵な笑顔で来ていただけるよう、スタッフ一同
精一杯ご支援させていただきますので、よろしくお願いいたします。



貴重なお時間をありがとうございました



インタビュー：黒瀬

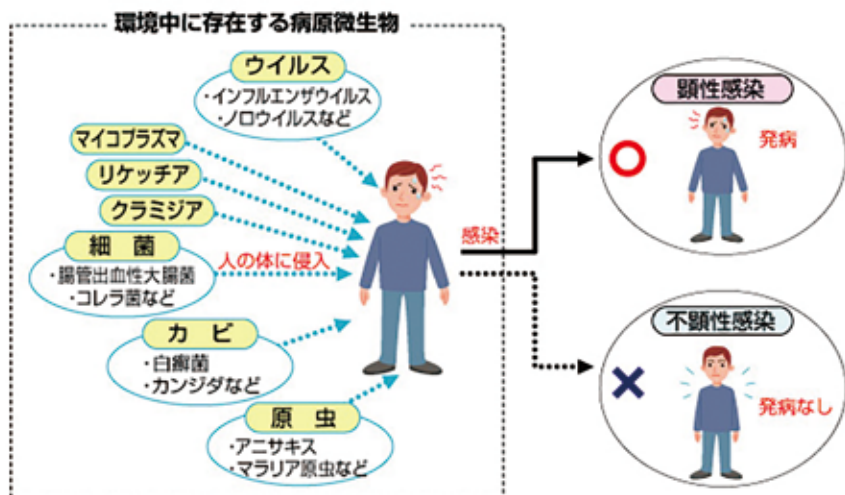
感染症 風邪やインフルエンザと予防

感染症とは

感染症とは、大気中等に存在する病原性の微生物が、人の体内に侵入することで引き起こす疾患です。私たちの身の回りには、目に見えない多くの細菌やウイルス等の微生物が存在しています。その中で、感染症を引き起こす微生物を病原体といいます。

感染は病原体が人間の体内に侵入、定着し、増殖することで成立します。感染しても症状が現れる場合と、はっきりとした症状が現れない場合があります。不顕性感染者は、知らない間に保菌者(キャリア)となって病原体を排泄し、感染源となって感染を拡げる可能性が高いので、問題となります。

目に見えない病原体の感染源や感染経路を知ることが大切です。



誰もが一度はかかったことのある風邪は、最も一般的な感染症です。鼻や喉等の上気道の粘膜に病原体が感染して起こる急性の炎症性疾患の総称です。原因となる病原体は、ほとんどがウイルスで、細菌等もあります。消化器に感染して下痢や嘔吐などを引き起こすウイルスもあり、いわゆる“お腹の風邪”といわれています。病原体がインフルエンザウイルスである上気道感染症のインフルエンザは、風邪とは区別して扱われます。風邪もインフルエンザも、主に接触感染や飛沫感染で他の人に感染し、感染予防を徹底することが重要です。

感染予防対策8ヶ条

手洗い 感染対策の基本中の基本。爪や指の間もキレイに。 	うがい 外出後は必ずうがいを。 	加湿 ウイルスは乾燥に強い。湿度50～60%を心がけて。 	マスク 飛沫(くしゃみや咳)を避けましょう。喉や鼻の粘膜を乾燥から守りましょう。 
換気 こまめに換気をして空気の入替えをしましょう。 	休養 過労は禁物。十分な休養(睡眠)の確保を。 	食事 バランスのとれた食事と水分補給を。 	人混みを避ける 人込みや繁華街への外出を避けましょう。 



菅原デイサービスセンター 個別機能訓練はじめました！



**高垣さんの趣味は映画鑑賞、特技は料理です。
調理師免許を持っていてかなりの腕前です！
得意料理はハンバーグです！**

菅原デイサービスセンターではご利用者様の
個別のリハビリニーズによりきめ細かくお応えするた
めに平成29年9月から作業療法士を配置しました。
これに伴い、11月から個別機能訓練を開始いたします。

作業療法士として9月から菅
原デイサービスセンターに勤
務している高垣 巧です。ひと
りひとりが抱える様々な困りご
とや課題に対し、丁寧にアプ
ローチしたいと思います。また
身体だけでなく心のサポート
も行い、皆様が安全に安心し
て生活とリハビリに取り組める
よう頑張りますのでよろしくお願い
いたします！



作業療法士とは？

よく理学療法士とどう違うのか？と思われる
方は多いと思います。理学療法士は日常生活
に必要な基本動作ができるよう機能回復をサポ
ートする専門家です。作業療法士は日常生活
動作や手工芸や園芸、レクリエーションなど
あらゆる作業活動を通じリハビリを行う専門家
です。理学療法士との違いですが、作業療法
士は心のリハビリも行います。

今までと何がどう変わるの？

- ① 利用料金が1回47円増加します。
- ② ご自宅を訪問させて頂き、生活でのお困り
ごとや課題をお聴きします。
- ③ そのうえで個別機能訓練計画書を作成します。

※ 現在のリハビリプログラムとの変更点は以下の通りです。

- 1) 20分程度の個別リハビリを希望される場合
は時間の都合上スリング体操はできません。
 - 2) 要支援1、要支援2の方はマシントレーニング
とスリング体操を中心の機能訓練になります。
(料金も含め大きな変更はありません)
 - ④ 計画に沿って機能訓練を実行いたします。
 - ⑤ 機能訓練の評価を行い、計画を見直します。
 - ⑥ ②から⑤を繰り返すことでご利用者様の
「こうなりたい姿」一緒に近づけていきます。
- ※ また、体の痛みのことや日常生活の悩みがあれば
随時ご相談に乗らせていただきます！

掲 示 板

「佐保の里グループ」組織図の一部変更

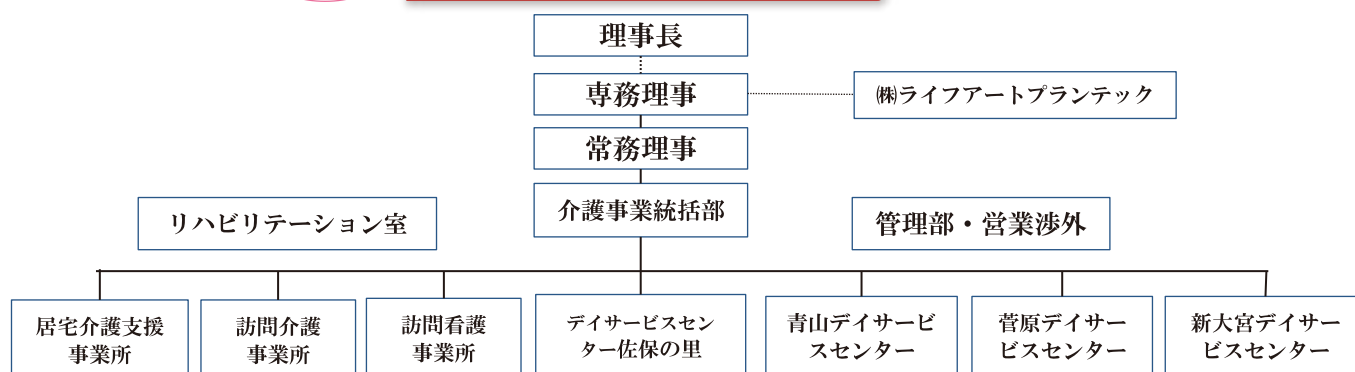
ライフアートコミュニティ佐保の里は、通所介護4事業所、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所、今年5月に訪問看護事業を開業し、4部門7事業所で在宅サービスを中心に事業展開を実施しています。

組織の変更を「佐保の里たより平成29年7月号」でお知らせいたしましたが、今回組織図の一部変更を実施いたしましたので、改めて掲載いたしました。



「佐保の里グループ」組織図

<変更後>



ISO9001内部監査実施



佐保の里内部監査風景

ISO9001:2015内部監査が10月10日～13日の期間、各センターで行われました。

各監査員は内部監査とはいえ、他部署から選ばれた人員で構成されており、各センター長や管理者を中心とした監査対象者に対し、具体的な説明を求めたり、書類の開示を求めたり、緊張感を持った中で監査が行われました。

後日、各監査事項について、適合、不適合等の監査結果を伝え改善を求めることになります。

各部署、内部監査とはいえISOの重要性を理解しており、ISOの要求事項に対し真摯に取り組むことで利用者の方々の安全・安心に取り組む姿が頼もしく見えます。

社内研修実施



社外研修が10月18日、19日の2日間に渡り、生駒市北コミュニティセンターにおいて実施されました。今回の研修はパート職員を中心に3回行われる予定で、両日は朝9時から17時までの間、4施設の職員を2組に分けて第1回目の研修が行われました。自分らしさと、人生のミッションとビジョンを再確認したり、実現したい職場の姿と、それを実現するために自分が貢献できることをイメージし、自分の仕事を意味づけ直したり、実現したい職場を達成するための行動計画をグループ毎に討議しました。次回2回目の研修は11月14日、15日の予定です。